



課題名

BLEタグによる認知症高齢者見守りネットワークを構築したい！

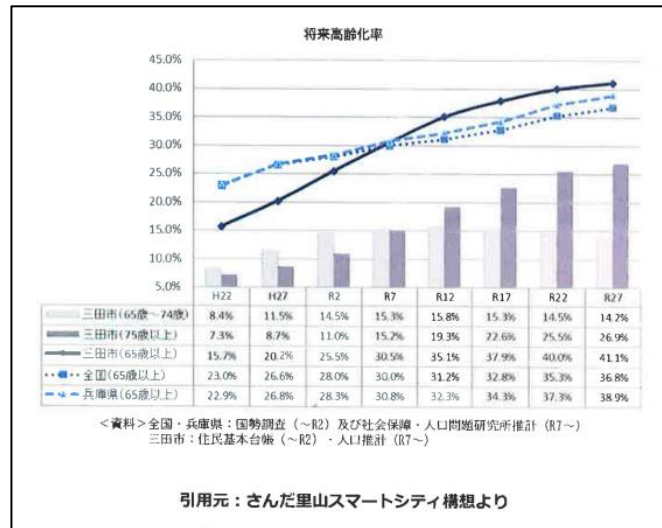
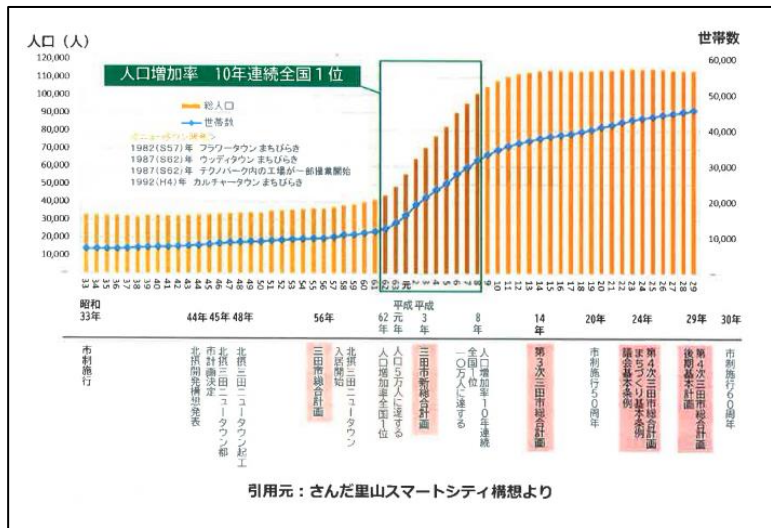
総合警備保障株式会社

×

三田市いきいき高齢者支援課

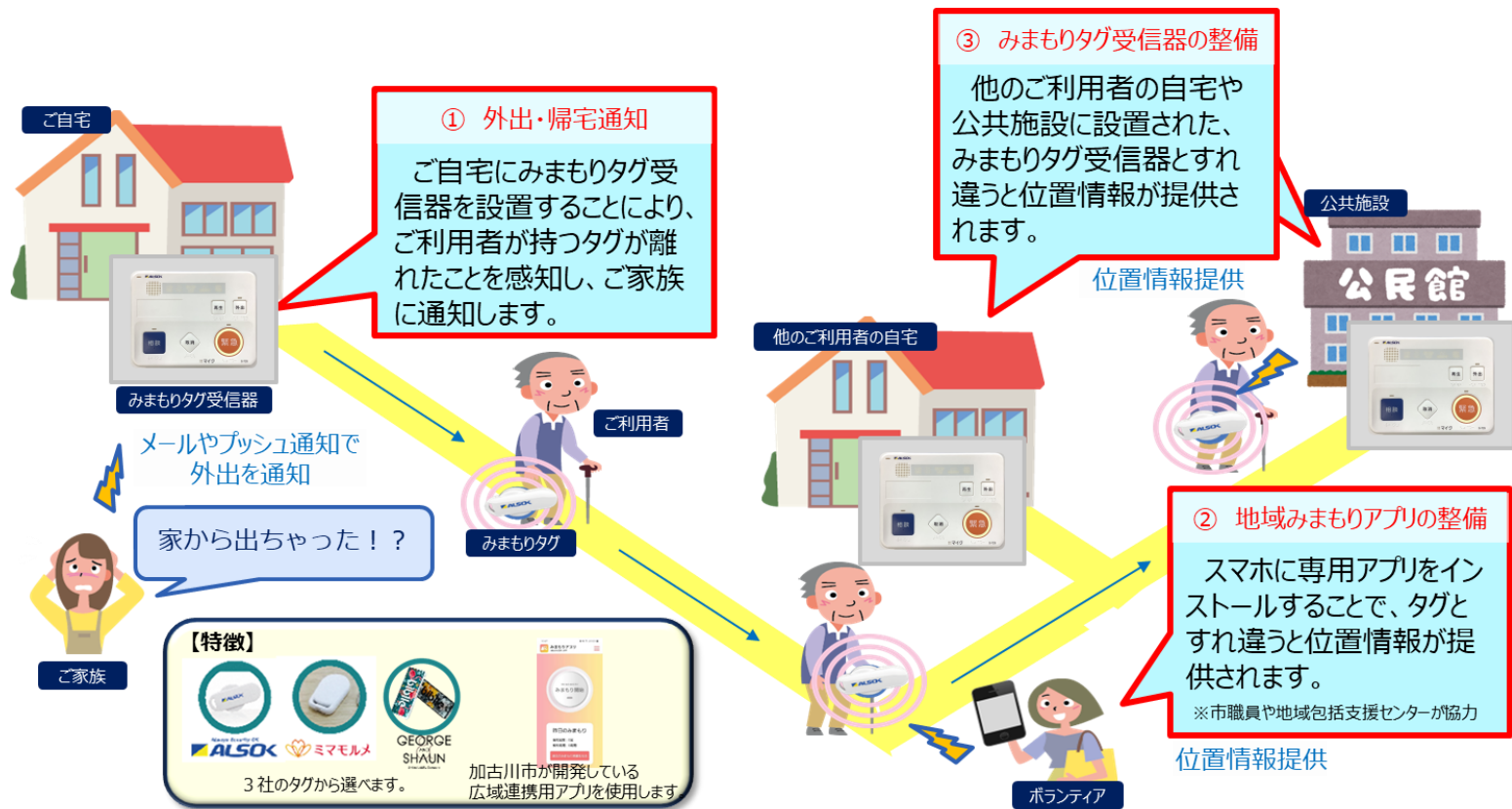
背景・目的

- 高齡化により、認知症高齢者の数も増えています。将来的にも急速に高齡化が進むと予測されます。
- 帰りが分からなくなったり、家族が探したり、警察に保護されるケースが毎年数件発生しています。

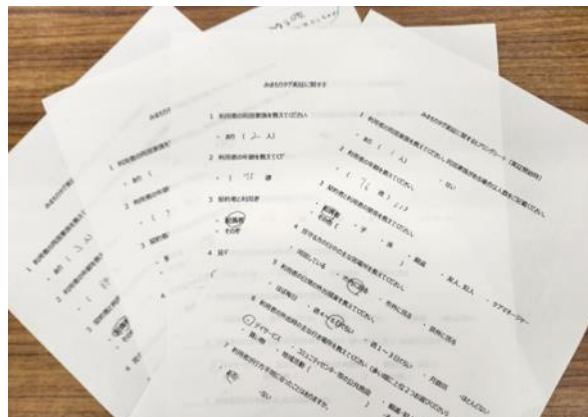


目的： 行方不明時に活用する検索ツールの一つとして、BLEタグの有用性を検証する。

実証実験の概要



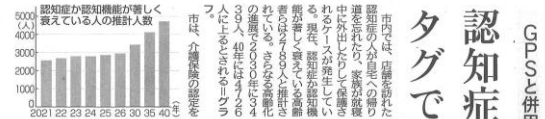
実証実験の様子



回収したアンケート（一部）



配布したみまもりタグ



市が実証実験 早期発見へアプリと連携

市内には、認知機能が衰えている人の推計人数が、GDSと連携したアプリと連携して、早期発見へ取り組んでいる。認知機能が衰えている人は、認知機能が衰えている人の推計人数が、GDSと連携したアプリと連携して、早期発見へ取り組んでいる。認知機能が衰えている人は、認知機能が衰えている人の推計人数が、GDSと連携したアプリと連携して、早期発見へ取り組んでいる。



神戸新聞にも掲載されました！

ご利用者にタグの説明をしている様子。
 テレビ局の取材も入りました！
 ひょうごスマートシティ・チャレンジ
 HYOGO SMART CITY CHALLENGE

目標・KPI

地域、対象者数、検証内容を絞った形で実施し、概ね当初想定を達成しました。

	項目	KPI	結果	備考
活動指標	見守りサービス利用者数	8名	8名	1ヶ月で募集～契約締結、配布まで完了した。
	事前アンケート回収数	8枚	8枚	契約締結時に回収する形で全件回収した。
	事後アンケート回収数	6枚	6枚	電話での催促などを経て、必要数回収した。
	3社タグ実証回数	15回	10回	時間、天候の関係で実施回数を減らした。
成果指標	ボランティアアプリ等の数	50端末	28端末※	下記参照
	みまもりタグの所持率	50%	100%	「外出時に半分以上で所持」してる方。
	利用者満足度（5段階評価）	3	3	ほとんどの方はまだ分からないと回答。

※ アプリ等の数について、この結果以外に20～30端末に地域みまもりアプリがインストールされていることを確認していません。

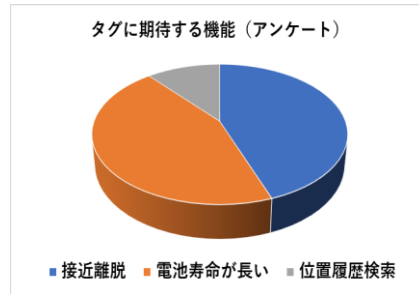
結果に反映されない理由は、アプリを閉じてしまったり、GPSやBluetoothを切ってしまったことなどが考えられます。

今後の展開・課題

アプリをインストールいただいたあと、その機能を維持（アプリを起動させ続けていただいたり、または必要な時にONにしてくれること）していく方策を検討することが今後の課題となりました。

一方で、利用者へのアンケート結果から、「接近離脱通知機能」や「電池寿命が長いこと」に対する期待があることも判明しました。

<利用者のアンケート>



<その他の利用者の声>

タグとGPSを併用して利用するのが有効なのではないか。※タグは外出検知、GPSは位置情報

<利用者自宅に設置した検知器での検知率検証>

利用者宅に検知器を設置しました。
(外出を把握するとともに地域の検知器としても活用)

3社のタグを持って、検知器が設置された場所付近を徒歩で周遊して、検知可能かを確認しました。

タグの種類にもよるが、検知数の多い事業者のタグでは、**8か所中、5か所で7割～9割の検知率**となった。
検知が難しい場所の特徴も把握できた。

来年度も検証を継続していく予定です。